

川島町・桶川市
循環型社会形成推進地域計画
(第1期) (案)

川島町
桶川市

令和6年〇月〇日

目 次

1	計画の基本的な事項	1
	(1) 基礎情報	1
	(2) 対象地域における取組みに関する事項	2
2	循環型社会形成推進のための現状と目標（一般廃棄物の処理）	4
	(1) 一般廃棄物の処理の現状と目標（全域）	4
	(2) 一般廃棄物の処理の現状と目標のフロー図（全域）	5
	(3) 各構成市町村の一般廃棄物の処理の現状と目標	6
3	目標達成に向けた施策（一般廃棄物の処理）	7
	(1) 処理体制	7
	(2) 処理施設等の整備	7
4	関連するその他の施策	16
5	計画のフォローアップと事後評価	18
	(1) 計画のフォローアップ	18
	(2) 事後評価及び計画の見直し	18
	総括表	19
	添付資料	20

川島町・桶川市循環型社会形成推進地域計画（第1期）

作成日	令和6年〇月〇日
-----	----------

変更日	
-----	--

1 計画の基本的な事項

(1) 基礎情報

ア. 対象地域

構成市町村等（作成者）名	川島町、桶川市						
地域内総人口（人）	93,322人						
地域総面積（km ² ）	66.98km ²						
地域の要件	人口						
離島、豪雪、山村、半島、過疎地域に該当がある市町村名							
地域の要件がその他の場合は具体的に記載							
構成市町村に一部事務組合等が含まれている場合、当該組合の状況							
組合名称（設立（予定）年月日）	川島桶川資源循環組合（令和7年4月1日設立予定）						
組合を構成する市町村	川島町、桶川市						
組合設立に関する、今後の見通し	令和7年4月1日に組合設立予定						

イ. 計画期間

開始年月日	令和7年4月1日
終了年月日	令和14年3月31日
計画期間※	7年

※目標の達成状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要な場合には計画を見直すものとする。

(2) 対象地域における取組みに関する事項

ア. ごみ処理の広域化・施設の集約化の検討状況

<p>埼玉県では、第9次埼玉県廃棄物処理基本計画で、地域において安定的かつ効率的な一般廃棄物処理体制の構築を進めるため、廃棄物の広域的な処理や廃棄物処理施設の集約化を推進している。また、第2次埼玉県ごみ処理広域化に基づき、21ブロックの枠内で、集約化に向けたごみ処理施設の更新計画が進められている。</p> <p>その中で川島町はブロック14に属しており、同じブロックの川島町と東松山市を除く5町村は、昭和39年2月に小川地区衛生組合を設立している。一方、桶川市はブロック4に属しており、同じブロックの桶川市を除く上尾市と伊奈町は、令和5年4月に上尾伊奈資源循環組合を設立している。</p> <p>このような状況の中で、川島町・桶川市・東松山市の2市1町で共通の課題に取り組むため、ごみ処理の広域化・施設の集約化に向けて協議を行ってきたが、令和5年4月1日に「川島町・桶川市ごみ処理広域化協議会」を設置し、1市1町でごみ処理の広域化を進めている。</p>	
<p>確認した都道府県の広域化・集約化計画の名称</p>	<p>第2次埼玉県ごみ処理広域化計画（第9次埼玉県廃棄物処理基本計画）</p>

イ. プラスチック資源の分別収集及び再商品化に係る実施内容

実施済の場合	実施地域	
	実施年度	
	実施方法	
	上記が④もしくは⑤の場合、その詳細	
実施予定の場合	予定地域	川島町、桶川市
	予定年度	令和15年度中
	予定方法	①日本容器包装リサイクル協会への委託（プラ法32条のルート）
	上記が④もしくは⑤の場合、その詳細	
実施しない（予定）地域		
プラ要件化対象事業の実施		○
備考		

ウ. 対象地域における一般廃棄物処理有料化の状況

有料化導入状況	③有料化は導入していない
上記が④の場合、その詳細	
未導入の構成市町村名	川島町、桶川市
有料化導入に向けた検討状況 ※全ての構成市町村で導入済 の場合は記載不要	ごみ排出量の推移を確認しながら有料化を検討する予定である。

エ. 対象地域における災害廃棄物処理計画の策定状況

策定状況	①構成市町すべてで策定済
策定済の構成市（計画の名称）	川島町（川島町災害廃棄物処理計画） 桶川市（桶川市災害廃棄物処理計画）
未策定の構成市（策定予定時期）	
備考	

2 循環型社会形成推進のための現状と目標（一般廃棄物の処理）

（1）一般廃棄物の処理の現状と目標（全域）

本計画の計画期間中においては、廃棄物の減量化を含め循環型社会の実現を目指し、表1のとおり目標量について定め、それぞれの施策に取り組んでいくものとする。

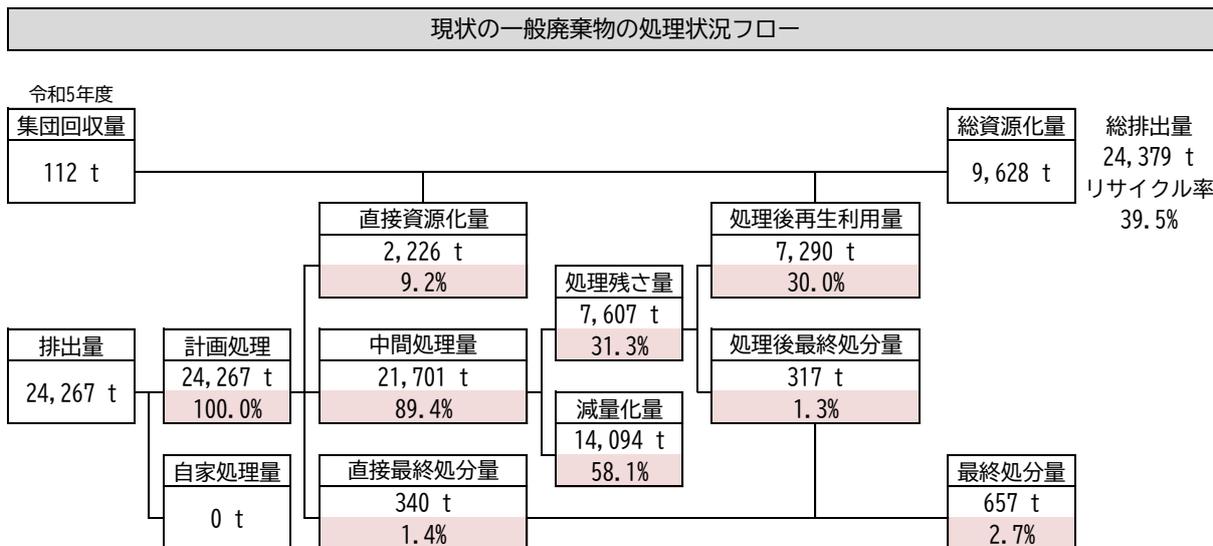
表1 減量化、再生利用に関する現状と目標		現状	目標	
		令和5年度	令和14年度	現状比
①総人口（人）		93,322	87,789	-5.9%
排出量	②事業系ごみ排出量（トン）	4,023	3,909	-2.8%
	③生活系ごみ排出量（トン）	20,244	18,657	-7.8%
	④1人1日当たりのごみ排出量（g/人日）	413	404	-2.2%
	その他排出量（トン）	112	147	31.3%
	⑤総排出量（トン）	24,379	22,713	-6.8%
	⑥1人1日当たりの排出量（g/人日）	714	709	-0.7%
再生利用量	⑦総資源化量（トン）	9,628	8,988	-6.6%
	総排出量に占める総資源化量の割合	39%	40%	
最終処分量	⑧埋立最終処分量（トン）	657	609	-7.3%
	総排出量に占める埋立最終処分量の割合	3%	3%	
エネルギー回収量	年間の発電電力量（MWh）	0	0	
	年間の熱利用量（GJ）	0	0	
特記事項	その他排出量は集団回収量を示す。			

※ 別添資料として①～⑧に関する過去及び将来推計のトレンドグラフを添付する。

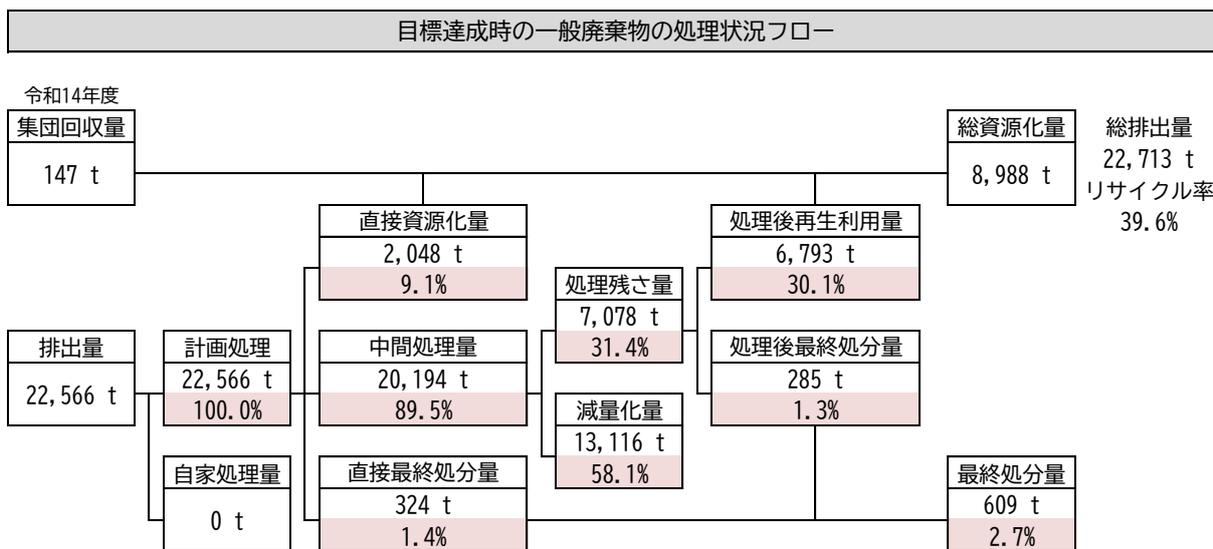
《用語の定義》 下記のとおり表1で用いる用語の定義を行う。

- ②③排出量：対象地域において出されたごみの量（資源含む。集団回収されたごみを除く）〔単位：トン〕
 ※事業系・生活系それぞれで記載。
- ④1人1日当たりのごみ排出量：（生活系ごみ排出量－生活系資源ごみの量）*10⁶/総人口/年間日数〔単位：g/人日〕
- その他排出量：②、③に該当しない排出量〔単位：トン〕
- ⑤総排出量：②+③+その他排出量〔単位：トン〕
- ⑥1人1日当たりの排出量：⑤*10⁶/総人口/年間日数〔単位：g/人日〕
- ⑦総資源化量：事業系の資源ごみ量+生活系の資源ごみの量+集団回収量等〔単位：トン〕
- エネルギー回収量：エネルギー回収施設において発電された年間の発電電力量〔単位：MWh〕及び熱利用量〔単位：GJ〕
- ⑧最終処分量：埋立処分された量〔単位：トン〕

(2) 一般廃棄物の処理の現状と目標のフロー図（全域）



※端数処理により割合・合計が合わないことがある。



※端数処理により割合・合計が合わないことがある。

(3) 各構成市町村の一般廃棄物の処理の現状と目標

川島町		現状	目標	
		令和5年度	令和14年度	現状比
排出量	事業系ごみ排出量 (トン)	1,369	1,387	1.3%
	生活系ごみ排出量 (トン)	4,810	3,849	-20.0%
	その他排出量 (トン)	112	147	31.3%
	総排出量 (トン)	6,291	5,383	-14.4%
再生利用量	総資源化量 (トン)	2,421	2,082	-14.0%
	総排出量に占める総資源化量の割合	38%	39%	
最終処分量	埋立最終処分量 (トン)	0	0	0
	総排出量に占める埋立最終処分量の割合	0%	0%	

桶川市		現状	目標	
		令和5年度	令和14年度	現状比
排出量	事業系ごみ排出量 (トン)	2,654	2,522	-5.0%
	生活系ごみ排出量 (トン)	15,434	14,808	-4.1%
	その他排出量 (トン)	0	0	0
	総排出量 (トン)	18,088	17,330	-4.2%
再生利用量	総資源化量 (トン)	7,207	6,906	-4.2%
	総排出量に占める総資源化量の割合	40%	40%	
最終処分量	埋立最終処分量 (トン)	657	609	-7.3%
	総排出量に占める埋立最終処分量の割合	4%	4%	

3 目標達成に向けた施策（一般廃棄物の処理）

（1）処理体制

ア．生活系ごみの処理体制の現状と今後
<p>【現状】 川島町では、「可燃ごみ」及び「粗大ごみ（可燃）」は焼却処理をしている。「粗大ごみ（不燃）」、「不燃ごみ・有害・危険」、「びん」、「かん」、「ペットボトル」、「容器包装（プラスチック製・紙製）」、「紙・布類」はリサイクルを行っている。</p> <p>桶川市では、ごみ焼却施設の老朽化により平成31年3月31日で稼働を停止しているため、「燃やせるごみ」は近隣自治体施設や民間処理施設で焼却処理をしている。「粗大ごみ」、「プラスチック」、「金属・ガラス・乾電池」、「紙製容器と包装紙」、「古着・新聞紙・雑誌・段ボール・紙パック」のほか、「その他ごみ」の一部はリサイクルを行っており、「その他ごみ」の残りの一部は埋立処理をしている。</p> <p>【今後】 川島町では、製品プラスチックは「可燃ごみ」として収集されているため、「可燃ごみ」と製品プラスチックの分別収集を含めた新たな分別区分を定め、令和15年度中に再商品化を行う予定である。</p> <p>桶川市では、製品プラスチックを「プラスチック」として収集し、サーマルリサイクルを行っているため、令和15年度中に再商品化を行う予定である。また、「その他ごみ」に可燃物・不燃物・危険物等が含まれているため、分別収集を含めた新たな分別区分を定める予定である。なお、「燃やせるごみ」については、令和15年度のエネルギー回収型廃棄物処理施設の新設時を目的に、近隣自治体施設や民間処理施設での焼却処理は中止する予定である。</p> <p>今後、新たな分別区分や収集方法について、両市町で検討を進める。</p>
イ．事業系ごみの処理体制の現状と今後
今後とも生活系ごみの分別区分に準じ、許可業者による収集、事業系一般廃棄物の処分を行う。
ウ．一般廃棄物処理施設であわせて処理する産業廃棄物の現状と今後
現状、基本的に産業廃棄物の処理は行っておらず、今後も同様の処理を継続していく予定である。

（2）処理施設等の整備

上記（1）の今後の分別区分及び処理体制で処理を行うため、表3のとおり必要な施設整備、表4のとおり計画支援事業等を行う。また、参考として現有施設の一覧を表5で示す。

表2-A 川島町の生活系ごみの分別区分と処理方法の現状と今後

現 状 (令和5年度)			今 後 (令和14年度)					
川島町			分別区分	処理方法		処理施設等		
分別区分	処理方法	処理施設等				一次処理	二次処理	
可燃ごみ	焼却	川島町 環境センター 焼却施設	可燃ごみ	焼却		川島町 環境センター 焼却施設	資源化 (委託)	
粗大ごみ (可燃)			粗大ごみ (可燃)					
粗大ごみ (不燃)	リサイクル	川島町 環境センター 不燃物処理 施設	粗大ごみ (不燃)	リサイクル	選別、一部売却	川島町 環境センター 不燃物処理 施設	資源化 (委託)	
不燃ごみ・有害・危険			不燃ごみ・有害・危険				資源化 (委託)	
びん			びん		選別		資源化 (委託)	
かん			かん		選別、圧縮・梱包、売却		(売却)	
ペットボトル			ペットボトル		選別、圧縮・梱包、一部売却		川島町 環境センター 容器包装処理 施設	資源化 (委託)
容器包装 (プラスチック製・紙製)			容器包装 (プラスチック製・紙製)		選別、圧縮・梱包		資源化 (委託)	
紙・布類			紙・布類		(売却)		(売却)	
					(売却)			

表2 - B 桶川市の生活系ごみの分別区分と処理方法の現状と今後

現 状 (令和5年度)			今 後 (令和14年度)						
桶川市			分別区分	処理方法		処理施設等			
分別区分	処理方法	処理施設等				一次処理	二次処理		
燃やせるごみ	焼却	近隣自治体施設・民間処理施設	燃やせるごみ	焼却		近隣自治体施設・民間処理施設	資源化(委託) 最終処分(委託)		
その他ごみ	埋立	委託	その他ごみ	埋立		選別	最終処分(委託)		
		委託				資源化	選別 破砕(委託)		
粗大ごみ	リサイクル	桶川市環境センター粗大ごみ処理施設	粗大ごみ	リサイクル	破砕、一部売却	桶川市環境センター粗大ごみ処理施設	資源化(委託) 最終処分(委託)		
プラスチック		委託	プラスチック		資源化、焼却	選別(委託)	資源化(委託) 最終処分(委託)		
金属・ガラス・乾電池		桶川市環境センターリサイクルセンター	金属・ガラス・乾電池		選別、一部売却	桶川市環境センターリサイクルセンター	資源化(委託) 最終処分(委託)		
紙製容器と包装紙		委託	紙製容器と包装紙		資源化	選別(委託)			
古着・新聞紙・雑誌・段ボール・紙パック		(売却)			古着・新聞紙・雑誌・段ボール・紙パック	(売却)	(売却)	(売却)	(売却)

表3-A マテリアルリサイクル推進等のための整備事業

事業番号	1				
施設名称	マテリアルリサイクル 推進施設				
事業主体	川島桶川資源循環組合				
工種	新設工事				
事業目的 (新設・改良等の理由)	川島町、桶川市における 資源ごみ広域処理の ため				
施設種別	リサイクルセンター				
処理方式	破碎、選別、 圧縮、梱包				
処理能力(単位)	20.7t/日				
事業期間	R8～R14年度				
竣工(事業完了)予定年月	R15.3				
設置予定地 ※検討中の場合は「未定」	埼玉県比企郡川島町 大字三保谷地内外				
想定される浸水深 ※未定の場合は記載不要	浸水深約7.5m				
浸水対策	プラットフォームを約6m の高さに設け、さらに 止水板等の浸水対策を 施す予定。				
環境省所管(循環交付金等) の活用を予定 ※「○」の場合は以下の項目を 記載すること	○				
国土強靱化地域計画 (計画の名称)	-				
プラ要件化の 経過措置の適用	-				
プラ施設整備事業	○				
CO2削減率 ※改良事業の場合	-				
スラグの利用計画 ※灰溶融施設を整備する場合	-				
ストック対象物 ※ストックヤードを整備する 場合	-				
備考					

表3-B エネルギー回収等のための整備事業

事業番号	2				
施設名称	エネルギー回収型廃棄物処理施設				
事業主体	川島桶川資源循環組合				
工種	新設工事				
事業目的 (新設・改良等の理由)	川島町、桶川市における可燃ごみ広域処理のため				
施設種別	ごみ焼却施設(エネルギー回収あり)				
型式及び処理方式	ストーカ式(未定)				
処理能力(単位)	69t				
事業期間	R8~R14年度				
竣工(事業完了)予定年月	R15.3				
設置予定地 ※検討中の場合は「未定」	埼玉県比企郡川島町 大字三保谷地内外				
想定される浸水深 ※未定の場合は記載不要	浸水深約7.5m				
浸水対策	プラットフォームを約6mの高さに設け、さらに止水板等の浸水対策を施す予定。				
環境省所管(循環交付金等)の活用を予定 ※「○」の場合は以下の項目を記載すること	○				
国土強靱化計画への記載 (計画の名称)	-				
プラ要件化の経過措置	-				
エネルギー回収率 ※発電・熱回収がある場合	11.5%以上				
余熱利用の計画	場内利用のみ(予定)				
外部供給における利活用の概要	-				
CO2削減率 ※改良事業の場合	-				
燃料の利用計画 ※ごみ燃料化施設を整備する場合	-				
バイオガス熱利用率 ※バイオガス化施設を整備する場合	-				
バイオガスの利用計画 ※バイオガス化施設を整備する場合	-				
備考	エネルギー回収率については、施設規模が100t以下のエネルギー回収型廃棄物処理施設(交付率1/3)における交付要件である11.5%を上回るものとする。				

表3-B エネルギー回収等のための整備事業

事業番号	2				
施設名称	エネルギー回収型廃棄物処理施設				
エネルギー回収のありなしに関わらず、焼却施設を環境省所管の交付金等を活用し、整備する場合は下記を記載					
計画1人1日平均排出量 (g)	533g				
計画収集人口(人)	87,130人				
計画直接搬入量 (t/日)	0.00t				
計画年間日平均処理量 (t/日)	46t/日				
通知に基づく施設規模 <small>(計画1人1日平均排出量×計画収集人口+計画直接搬入量)÷実稼働率</small>	63t/日				
災害廃棄物処理計画への受入の記載有無					
災害廃棄物処理量 (見込み%)	10%				
災害廃棄物処理量を見込んだ通知に基づく施設規模	69t/日				
適切な施設規模よりも大きいまたは小さい施設規模で整備する場合					
備考	令和9年度に造成工事着工予定であるため、「循環型社会形成推進交付金等に係る施設の整備規模について(通知)」には準じていない。				

表4 施設整備に関する計画支援事業等

事業番号	①	②	③	④	⑤
関連する本体事業の番号	1, 2	1, 2	1, 2	1, 2	1, 2
事業名	施設整備に関する計画支援事業	施設整備に関する計画支援事業	施設整備に関する計画支援事業	施設整備に関する計画支援事業	施設整備に関する計画支援事業
事業主体	川島桶川資源循環組合	川島桶川資源循環組合	川島桶川資源循環組合	川島桶川資源循環組合	川島桶川資源循環組合
事業目的	マテリアルリサイクル推進施設及びエネルギー回収型廃棄物処理施設整備工事のため	マテリアルリサイクル推進施設及びエネルギー回収型廃棄物処理施設整備工事のため	マテリアルリサイクル推進施設及びエネルギー回収型廃棄物処理施設整備工事のため	マテリアルリサイクル推進施設及びエネルギー回収型廃棄物処理施設整備工事のため	マテリアルリサイクル推進施設及びエネルギー回収型廃棄物処理施設整備工事のため
事業概要	測量	地質調査	施設整備基本計画策定	PFI等導入可能性調査	生活環境影響調査
環境省所管（循環交付金等）の活用を予定 ※「○」の場合は以下の項目を記載すること	○	○	○	○	○
プラ要件の経過措置	-	-	-	-	-
プラ施設整備事業	○	○	○	○	○
備考					

事業番号	⑥	⑦	⑧	⑨	
関連する本体事業の番号	1, 2	1, 2	1, 2	1, 2	
事業名	施設整備に関する計画支援事業	施設整備に関する計画支援事業	施設整備に関する計画支援事業	施設整備に関する計画支援事業	
事業主体	川島桶川資源循環組合	川島桶川資源循環組合	川島桶川資源循環組合	川島桶川資源循環組合	
事業目的	マテリアルリサイクル推進施設及びエネルギー回収型廃棄物処理施設整備工事のため	マテリアルリサイクル推進施設及びエネルギー回収型廃棄物処理施設整備工事のため	マテリアルリサイクル推進施設及びエネルギー回収型廃棄物処理施設整備工事のため	マテリアルリサイクル推進施設及びエネルギー回収型廃棄物処理施設整備工事のため	
事業概要	搬入道路設計	造成基本設計	造成実施設計	事業者選定支援	
環境省所管（循環交付金等）の活用を予定 ※「○」の場合は以下の項目を記載すること	○	○	○	○	
プラ要件の経過措置	-	-	-	-	
プラ施設整備事業	○	○	○	○	
備考					

表5-A 現有施設一覧（川島町）

施設種別	焼却施設	不燃物処理施設	容器包装処理施設	ストックヤード
施設名	川島町環境センター 焼却施設	川島町環境センター 不燃物処理施設	川島町環境センター 容器包装処理施設	川島町環境センター 保管施設
施設所有主体	川島町	川島町	川島町	川島町
型式及び処理方式	ストーカ式 (バッチ式)	破碎、選別、圧縮・ 梱包	選別、圧縮・梱包	—
処理能力（単位）	40t/8h	10t/5h	4t/5h	157m ²
エネルギー回収の有無	無	—	—	—
竣工年月	S54.1	S54.10	H13.1	H13.1
廃止又は休止（予定）年月	R15.3	R15.3	R15.3	R15.3
施設所在地	埼玉県比企郡川島町 大字曲師370番地	埼玉県比企郡川島町 大字曲師370番地	埼玉県比企郡川島町 大字曲師370番地	埼玉県比企郡川島町 大字曲師370番地
想定される浸水深	約5.9m	約5.9m	約5.9m	約5.9m
浸水対策	浸水によって既存処理施設での処理が困難な場合は、仮設処理施設や広域処理体制を検討する。	浸水によって既存処理施設での処理が困難な場合は、仮設処理施設や広域処理体制を検討する。	浸水によって既存処理施設での処理が困難な場合は、仮設処理施設や広域処理体制を検討する。	浸水によって既存処理施設での処理が困難な場合は、仮設処理施設や広域処理体制を検討する。
交付金を活用した解体を実施する場合、その交付条件	関連性・連続性の解体			
廃焼却施設解体事業着手（予定）年月	未定			
完了（予定）年月	未定			
関連する新設事業番号 ※表3の事業番号	2	1	1	1
備考	川島町環境センター焼却施設と桶川市環境センターごみ焼却施設のいずれを交付金を活用して解体するかについては、川島町・桶川市循環型社会形成推進地域計画（第2期）で示す。			

表5-B 現有施設一覧（桶川市）

施設種別	焼却施設	粗大ごみ処理施設	資源物処理施設	ストックヤード
施設名	桶川市環境センター ごみ焼却施設	桶川市環境センター 粗大ごみ処理施設	桶川市環境センター リサイクルセンター	桶川市環境センター ストックヤード
施設所有主体	桶川市	桶川市	桶川市	桶川市
型式及び処理方式	ストーカ式 (全連続)	破碎	選別	—
処理能力(単位)	240t/日	20t/5h	36t/5h	894m ²
エネルギー回収の有無	無	—	—	—
竣工年月	S52.7	H1.3	S62.3	H10.4
廃止又は休止(予定)年月	R15.3	R15.3	R15.3	R15.3
施設所在地	埼玉県桶川市大字小 針領家1160番地	埼玉県桶川市大字小 針領家1160番地	埼玉県桶川市大字小 針領家1160番地	埼玉県桶川市大字小 針領家1160番地
想定される浸水深	約1.0m	約1.0m	約1.0m	約1.0m
浸水対策	地盤の計画的な崇上げ、防水壁の設置、受変電設備の想定浸水レベル以上への配置、プラットホームの階高等	地盤の計画的な崇上げ、防水壁の設置、受変電設備の想定浸水レベル以上への配置等	地盤の計画的な崇上げ、防水壁の設置、受変電設備の想定浸水レベル以上への配置等	地盤の計画的な崇上げ、防水壁の設置等
交付金を活用した解体を実施する場合、その交付条件	関連性・連続性の解体			
廃焼却施設解体事業着手(予定)年月 完了(予定)年月	未定 未定			
関連する新設事業番号 ※表3の事業番号	2	1	1	1
備考	平成31年3月31日をもって稼働停止。 川島町環境センター焼却施設と桶川市環境センターごみ焼却施設のいずれを交付金を活用して解体するかについては、川島町・桶川市循環型社会形成推進地域計画(第2期)で示す。			

4 関連するその他の施策

地域の循環型社会を形成する上で、次の施策を実施していく

ア ごみ減量・リサイクル促進のための施策内容
ごみ減量化に向けては、生ごみの自家処理の推進や水切りの徹底等により、生ごみの削減を図る。また、枝・葉・草等は水分を多く含んでいるため、ホームページ等で乾燥後の排出を促す。 ごみの資源化に向けては、両市町において店頭回収や拠点回収の推進を図る。

イ プラスチック資源に関する施策内容
プラスチックごみの削減に向けて、レジ袋削減の周知・啓発をするとともに、マイバッグ運動の推進を行う。

ウ ごみ処理手数料有料化の実施内容
両市町共に、ごみ処理手数料有料化は実施していない。 ただし、粗大ごみの収集運搬処分や事業系ごみ等の直接搬入については、料金を徴収している。 なお、桶川市においては、指定袋による収集を行っている。

エ リチウム蓄電池に関する対策
ごみ収集車両やごみ処理施設での火災事故等を未然に防止するため、分別と適切な排出方法の周知・啓発を図る。

オ 事業系ごみに関する施策内容

各環境センターに搬入される事業系ごみの搬入物検査を定期的を実施し、分別と適正排出の促進を図る。

カ 災害時の廃棄物処理に関する事項

平成31年度に策定した「川島町災害廃棄物処理計画」及び「桶川市災害廃棄物処理計画」では、災害廃棄物の適正かつ円滑な処理の実施を目指すため、災害廃棄物の処理に係る組織体制や処理スケジュール等を示している。

令和15年度から稼働予定の新ごみ処理施設においては、災害に強い廃棄物処理システムの構築を目指す。また、建設予定地周辺は最大浸水深が約7.5mであり、甚大な水害が発生する恐れがあるため、新ごみ処理施設では造成盛土や止水板等を施し、水害時にもごみ処理事業が継続可能な施設とする。

一時的に通常のごみ処理ができなくなった場合に備え、引き続き近隣自治体との連携体制の構築を図る。

5 計画のフォローアップと事後評価

(1) 計画のフォローアップ

川島町及び桶川市は、計画の進捗状況を把握し、その結果を公表するとともに、必要に応じて、構成市町、埼玉県及び国と意見交換をしつつ、計画の進捗状況を勘案し、計画の見直しを行う。

(2) 事後評価及び計画の見直し

計画期間終了後、処理状況の把握を行い、その結果が取りまとまった時点で、速やかに計画の事後評価、目標達成状況の評価を行う。また、評価の結果を公表するとともに、評価結果を次期計画策定に反映させるものとする。なお、計画の進捗状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要に応じ計画を見直すものとする。

総括表（交付期間における各交付対象事業の概算事業費）

事業種別 施設名称等	事業番号	事業主体名称	規模 単位	事業期間		交付金交付期間		総事業費（千円）		交付対象事業費（千円）								備考			
				開始	終了	開始	終了	複数計画 合算費	現計画での 総事業費	複数計画 合算費	合計	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度	令和 11年度	令和 12年度		令和 13年度		
マテリアルリサイクル推進等のための整備事業								6,417,922	4,908,522	5,231,322	3,885,522	0	28,911	60,111	62,800	403,300	973,200	2,357,200			
マテリアルリサイクル推進施設整備事業	1	川島桶川資源循環組合	20.7	t/日	R8	R13	R8	R13	6,417,922	4,908,522	5,231,322	3,885,522	0	28,911	60,111	62,800	403,300	973,200	2,357,200	全体の事業期間：R8～R14	
エネルギー回収等のための整備事業								16,622,078	11,598,878	11,234,500	7,375,600	0	0	46,800	94,200	680,800	1,354,000	5,199,800			
エネルギー回収型廃棄物処理施設整備事業	2	川島桶川資源循環組合	69	t/日	R8	R13	R9	R13	16,622,078	11,598,878	11,234,500	7,375,600	0	0	46,800	94,200	680,800	1,354,000	5,199,800	全体の事業期間：R8～R14	
計画支援事業等								271,000	271,000	245,400	245,400	126,300	64,100	34,100	20,900	0	0	0			
事業番号1,2にかかる測量調査事業	①	川島桶川資源循環組合	-	-	R7	R7	R7	R7	31,500	31,500	31,500	31,500	31,500	0	0	0	0	0	0		
事業番号1,2にかかる地質調査事業	②	川島桶川資源循環組合	-	-	R7	R7	R7	R7	24,300	24,300	24,300	24,300	24,300	0	0	0	0	0	0		
事業番号1,2にかかる施設整備基本計画策定事業	③	川島桶川資源循環組合	-	-	R7	R8	R7	R8	28,500	28,500	23,100	23,100	14,100	9,000	0	0	0	0	0	0	契約期間：R7～R8(債務負担)
事業番号1,2にかかるPFI等導入可能性調査事業	④	川島桶川資源循環組合	-	-	R7	R8	R7	R8	9,300	9,300	9,300	9,300	7,500	1,800	0	0	0	0	0	0	契約期間：R7～R8(債務負担)
事業番号1,2にかかる生活環境影響調査事業	⑤	川島桶川資源循環組合	-	-	R7	R8	R7	R8	71,400	71,400	71,400	71,400	45,000	26,400	0	0	0	0	0	0	契約期間：R7～R8(債務負担)
事業番号1,2にかかる搬入道路設計事業	⑥	川島桶川資源循環組合	-	-	R7	R8	R7	R8	23,100	23,100	5,100	5,100	1,200	3,900	0	0	0	0	0	0	契約期間：R7～R8(債務負担)
事業番号1,2にかかる造成基本設計事業	⑦	川島桶川資源循環組合	-	-	R7	R8	R7	R8	14,700	14,700	14,700	14,700	2,700	12,000	0	0	0	0	0	0	契約期間：R7～R8(債務負担)
事業番号1,2にかかる造成実施設計事業	⑧	川島桶川資源循環組合	-	-	R8	R9	R8	R9	22,000	22,000	22,000	22,000	0	11,000	11,000	0	0	0	0	0	契約期間：R8～R9(債務負担)
事業番号1,2にかかる事業者選定支援事業	⑨	川島桶川資源循環組合	-	-	R9	R10	R9	R10	46,200	46,200	44,000	44,000	0	0	23,100	20,900	0	0	0	0	契約期間：R9～R10(債務負担)
合計								23,311,000	16,778,400	16,711,222	11,506,522	126,300	93,011	141,011	177,900	1,084,100	2,327,200	7,557,000			

添付資料

- 添付資料1 一般廃棄物の処理に係るトレンドグラフ
- 添付資料2 対象地域図
- 添付資料3 地域内の施設の現況と予定（位置図）
- 添付資料4 ハザードマップ
- 添付資料5 浸水ナビ

添付資料1 一般廃棄物の処理に係るトレンドグラフ

表1-1 一般廃棄物の処理の実績と予測（合計）

指標・単位	過去の状況（実績）					予測								目標
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	
人口（人）	95,311	94,874	94,167	93,868	93,322	92,714	92,125	91,530	90,923	90,321	89,688	89,061	88,433	87,789
事業系ごみ排出量（トン）	4,469	4,063	4,060	4,164	4,023	3,972	3,969	3,966	3,974	3,922	3,919	3,916	3,924	3,909
生活系ごみ排出量（トン）	21,964	22,961	21,911	21,076	20,244	20,624	20,329	20,090	19,908	19,624	19,391	19,161	18,961	18,657
1人1日当たりのごみ排出量（g/人日）	438	457	443	432	413	426	422	419	417	415	412	410	407	404
その他排出量（トン）	287	177	154	83	112	147	147	147	147	147	147	147	147	147
総排出量（トン）	26,720	27,201	26,125	25,323	24,379	24,743	24,445	24,203	24,029	23,693	23,457	23,224	23,032	22,713
1人1日当たりの排出量（g/人日）	766	785	760	739	714	731	727	724	722	719	717	714	712	709
総資源化量（トン）	9,062	9,148	9,647	9,773	9,628	9,730	9,630	9,538	9,473	9,348	9,260	9,167	9,102	8,988
埋立最終処分量（トン）	1,936	1,228	861	633	657	651	647	642	637	629	624	620	616	609
生活系ごみ排出量のうち資源化量（トン）	6,690	7,137	6,692	6,282	6,130	6,205	6,140	6,077	6,031	5,951	5,890	5,826	5,784	5,706
年間日数（日）	366	365	365	365	366	365	365	365	366	365	365	365	366	365

表1-2 一般廃棄物の処理の実績と予測（川島町）

指標・単位	過去の状況（実績）					予測								目標
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	
人口（人）	19,952	19,672	19,345	19,188	18,874	18,918	18,666	18,409	18,149	17,889	17,604	17,319	17,036	16,744
事業系ごみ排出量（トン）	1,489	1,404	1,408	1,414	1,369	1,387	1,387	1,387	1,391	1,387	1,387	1,387	1,391	1,387
生活系ごみ排出量（トン）	5,176	5,501	5,214	5,044	4,810	4,738	4,591	4,497	4,411	4,303	4,205	4,103	3,988	3,849
1人1日当たりのごみ排出量（g/人日）	481	497	483	483	461	452	440	435	430	425	421	416	406	396
その他排出量（トン）	287	177	154	83	112	147	147	147	147	147	147	147	147	147
総排出量（トン）	6,952	7,082	6,776	6,541	6,291	6,272	6,125	6,031	5,949	5,837	5,739	5,637	5,526	5,383
1人1日当たりの排出量（g/人日）	952	986	960	934	911	908	899	898	896	894	893	892	886	881
総資源化量（トン）	2,819	2,727	2,572	2,306	2,421	2,348	2,312	2,284	2,257	2,218	2,188	2,153	2,123	2,082
埋立最終処分量（トン）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活系ごみ排出量のうち資源化量（トン）	1,662	1,935	1,801	1,660	1,627	1,615	1,593	1,573	1,553	1,525	1,503	1,476	1,458	1,429
年間日数（日）	366	365	365	365	366	365	365	365	366	365	365	365	366	365

表1-3 一般廃棄物の処理の実績と予測（桶川市）

指標・単位	過去の状況（実績）					予測								目標
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	
人口（人）	75,359	75,202	74,822	74,680	74,448	73,796	73,459	73,121	72,774	72,432	72,084	71,742	71,397	71,045
事業系ごみ排出量（トン）	2,980	2,659	2,652	2,750	2,654	2,585	2,582	2,579	2,583	2,535	2,532	2,529	2,533	2,522
生活系ごみ排出量（トン）	16,788	17,460	16,697	16,032	15,434	15,886	15,738	15,593	15,497	15,321	15,186	15,058	14,973	14,808
1人1日当たりのごみ排出量（g/人日）	426	447	432	419	401	419	417	415	414	412	410	409	407	406
その他排出量（トン）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総排出量（トン）	19,768	20,119	19,349	18,782	18,088	18,471	18,320	18,172	18,080	17,856	17,718	17,587	17,506	17,330
1人1日当たりの排出量（g/人日）	717	733	708	689	664	686	683	681	679	675	673	672	670	668
総資源化量（トン）	6,243	6,421	7,075	7,467	7,207	7,382	7,318	7,254	7,216	7,130	7,072	7,014	6,979	6,906
埋立最終処分量（トン）	1,936	1,228	861	633	657	651	647	642	637	629	624	620	616	609
生活系ごみ排出量のうち資源化量（トン）	5,028	5,202	4,891	4,622	4,503	4,590	4,547	4,504	4,478	4,426	4,387	4,350	4,326	4,277
年間日数（日）	366	365	365	365	366	365	365	365	366	365	365	365	366	365

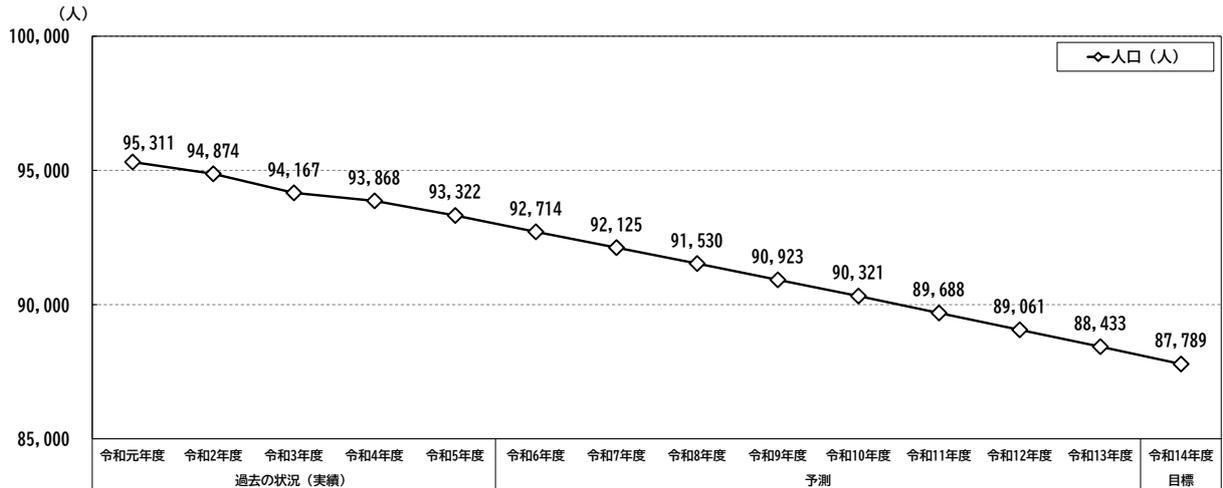


図1-1 人口の推移 (合計)

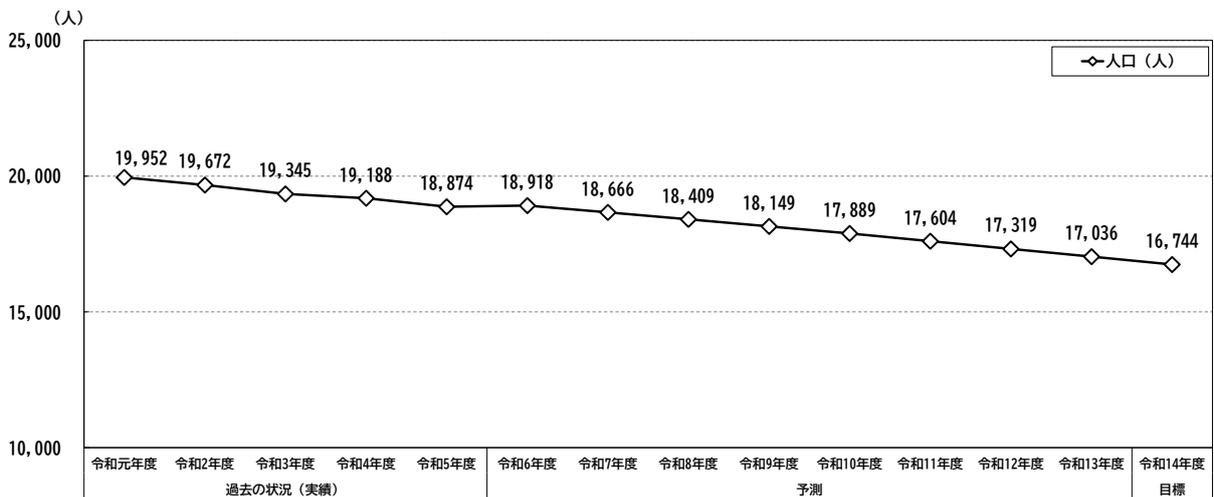


図1-2 人口の推移 (川島町)

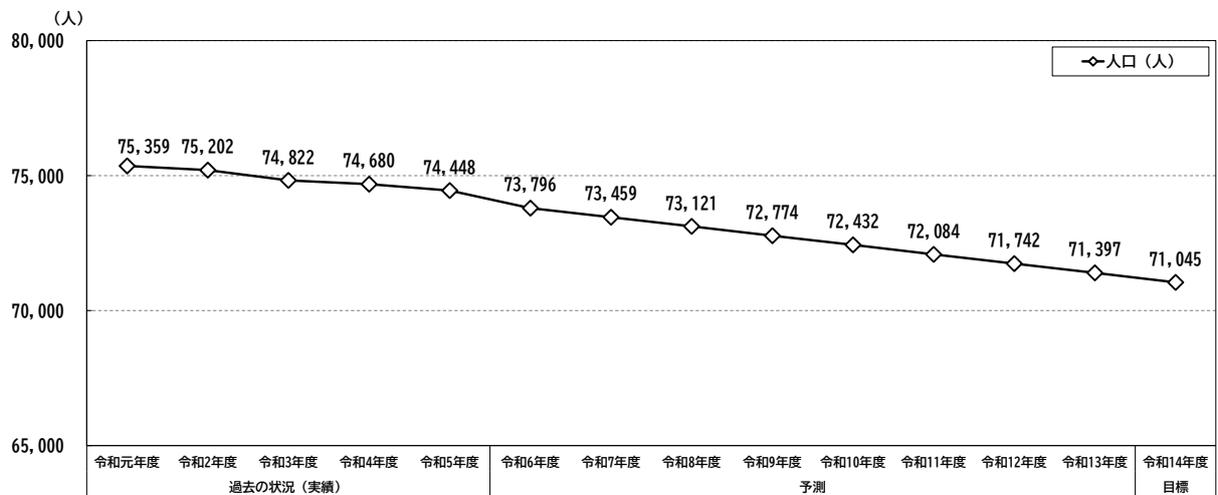


図1-3 人口の推移 (桶川市)

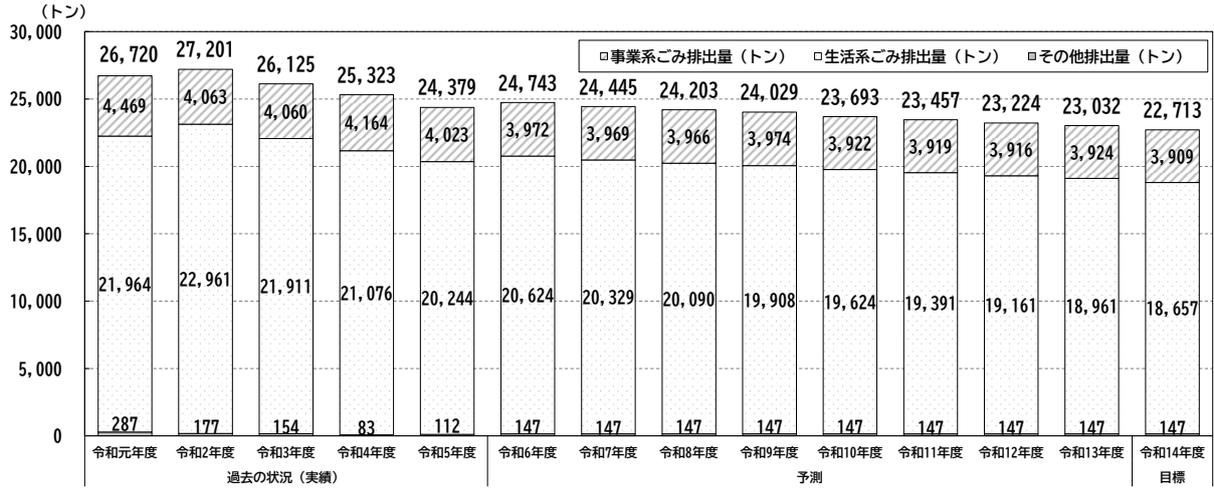


図2-1 事業系ごみ排出量・生活系ごみ排出量・その他排出量の推移（合計）

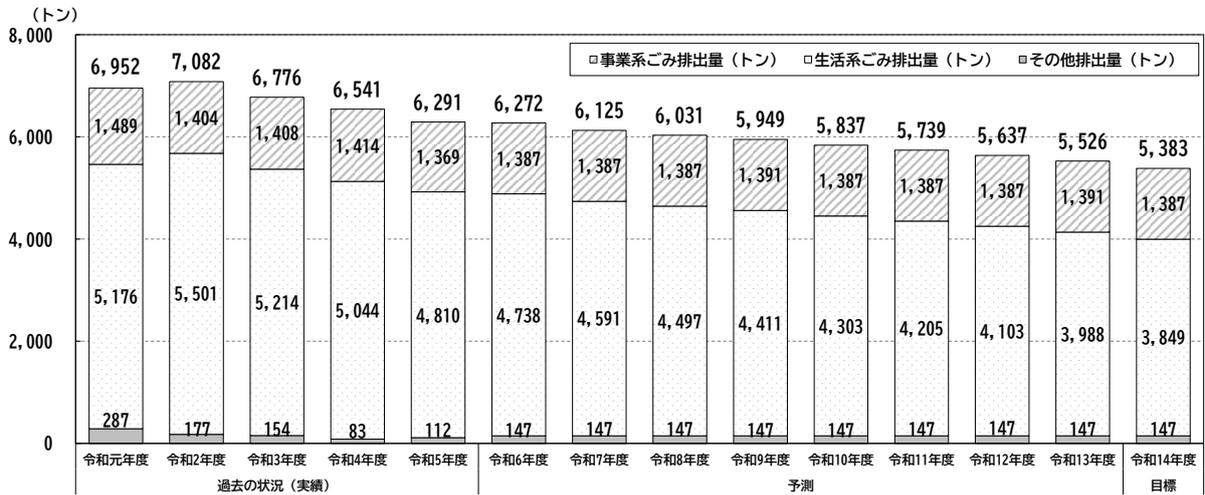


図2-2 事業系ごみ排出量・生活系ごみ排出量・その他排出量の推移（川島町）

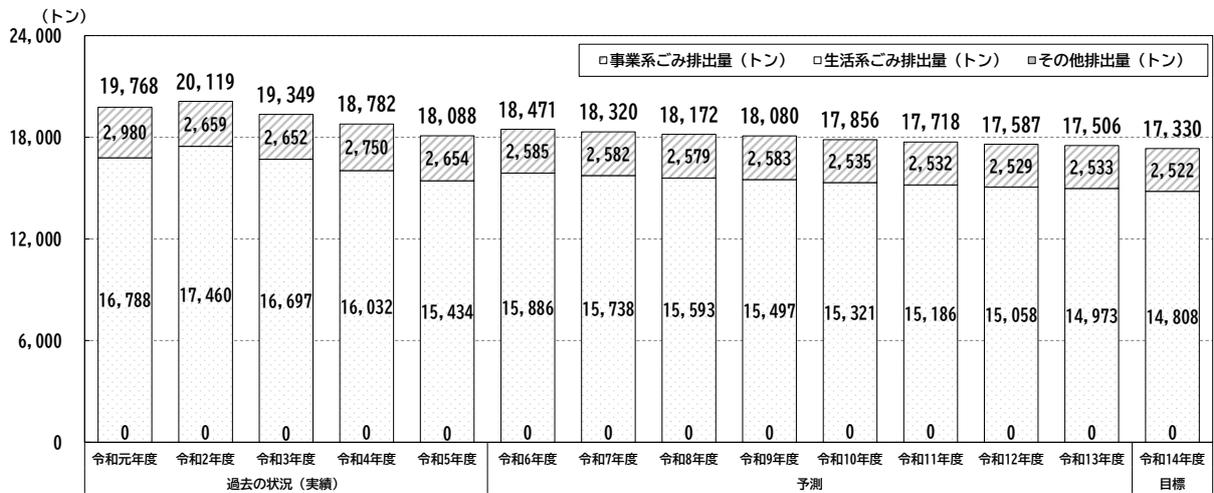


図2-3 事業系ごみ排出量・生活系ごみ排出量・その他排出量の推移（桶川市）

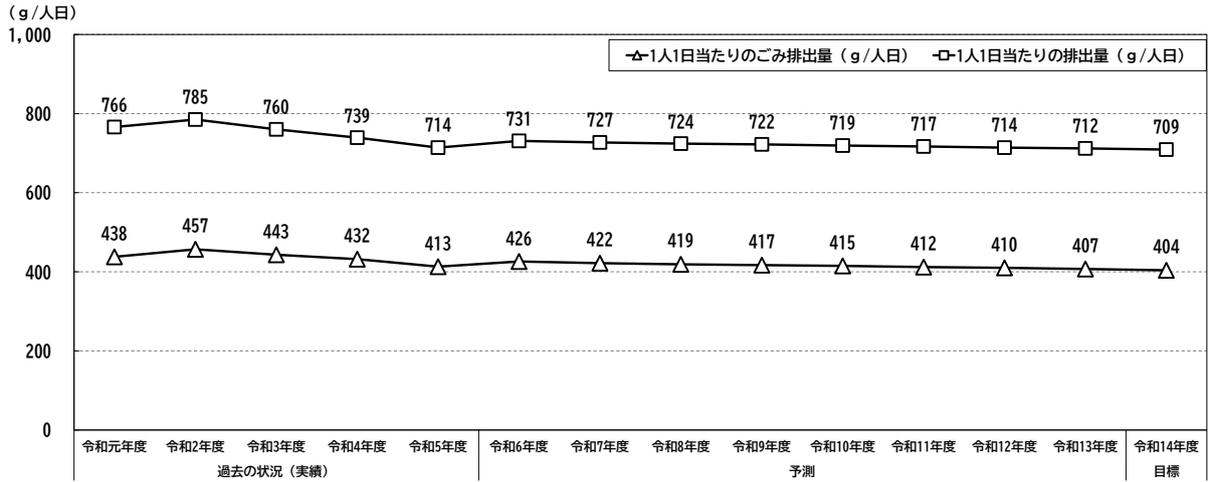


図3-1 1人1日当たりのごみ排出量・1人1日当たりの排出量の推移(合計)

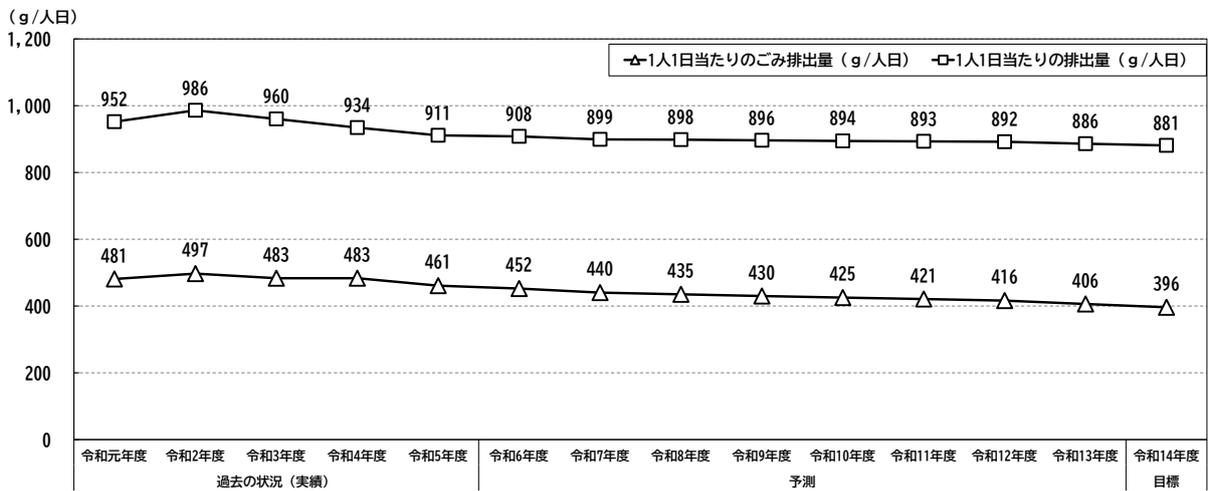


図3-2 1人1日当たりのごみ排出量・1人1日当たりの排出量の推移(川島町)

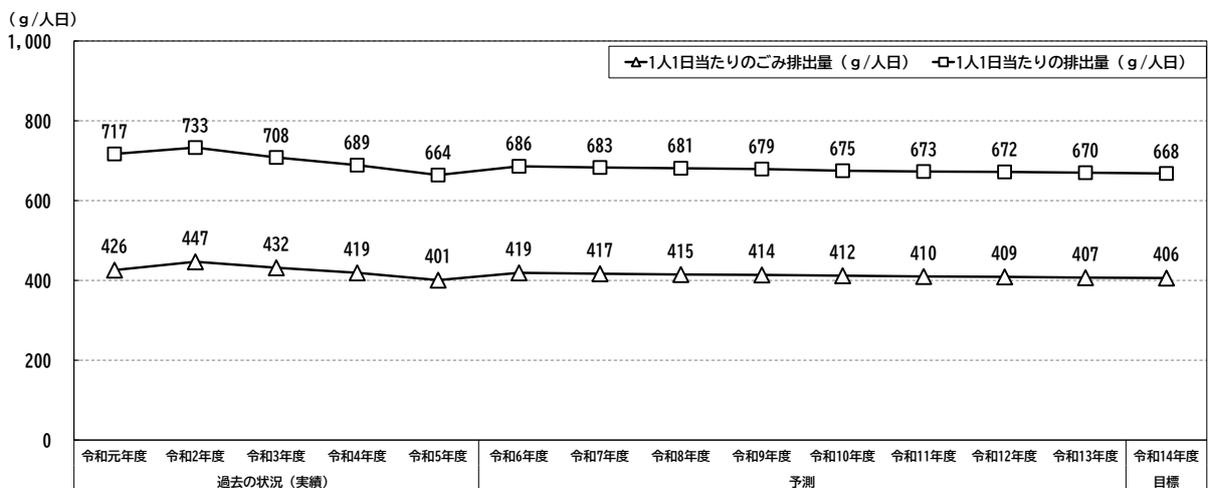


図3-3 1人1日当たりのごみ排出量・1人1日当たりの排出量の推移(桶川市)

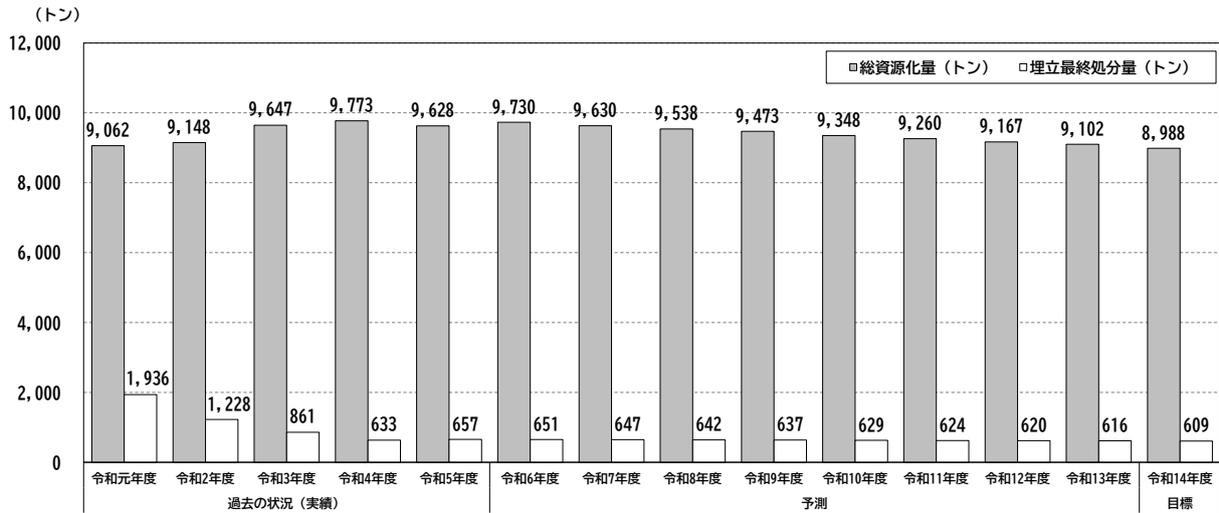


図4—1 総資源化量・埋立最終処分量の推移 (合計)

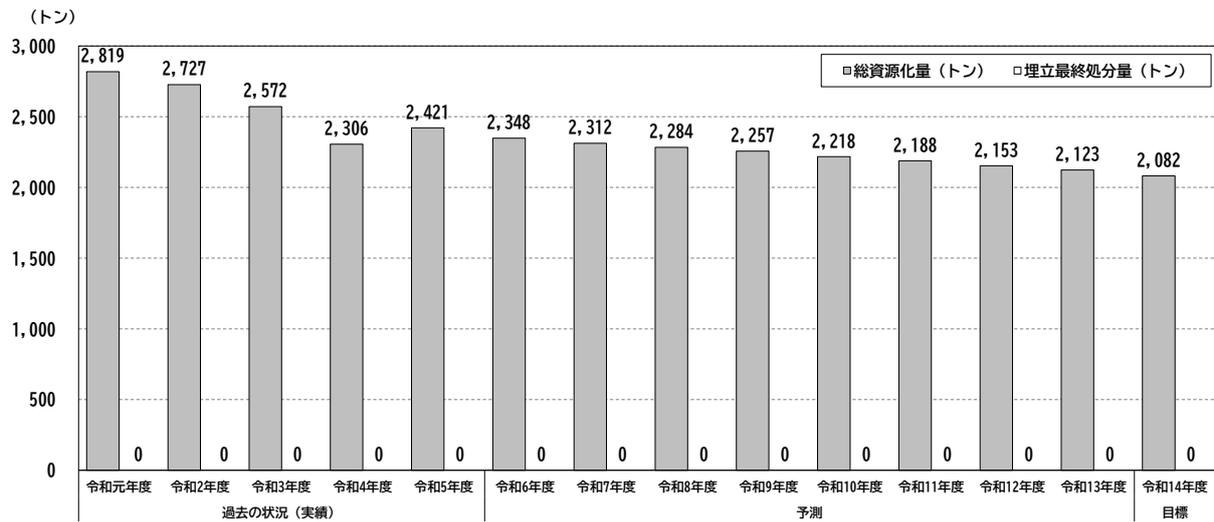


図4—2 総資源化量・埋立最終処分量の推移 (川島町)

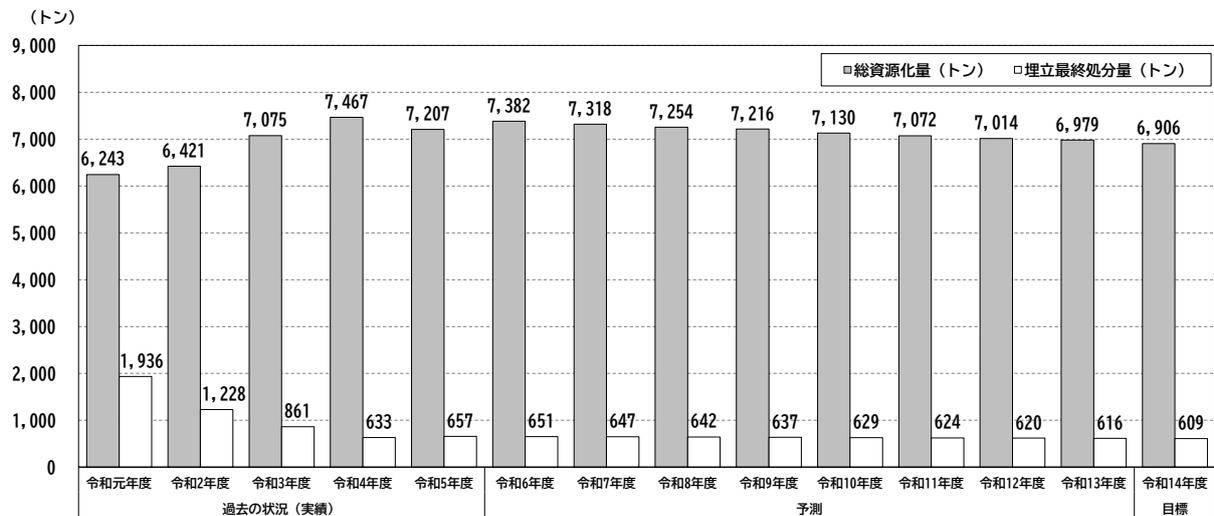


図4—3 総資源化量・埋立最終処分量の推移 (桶川市)

添付資料2 対象地域図

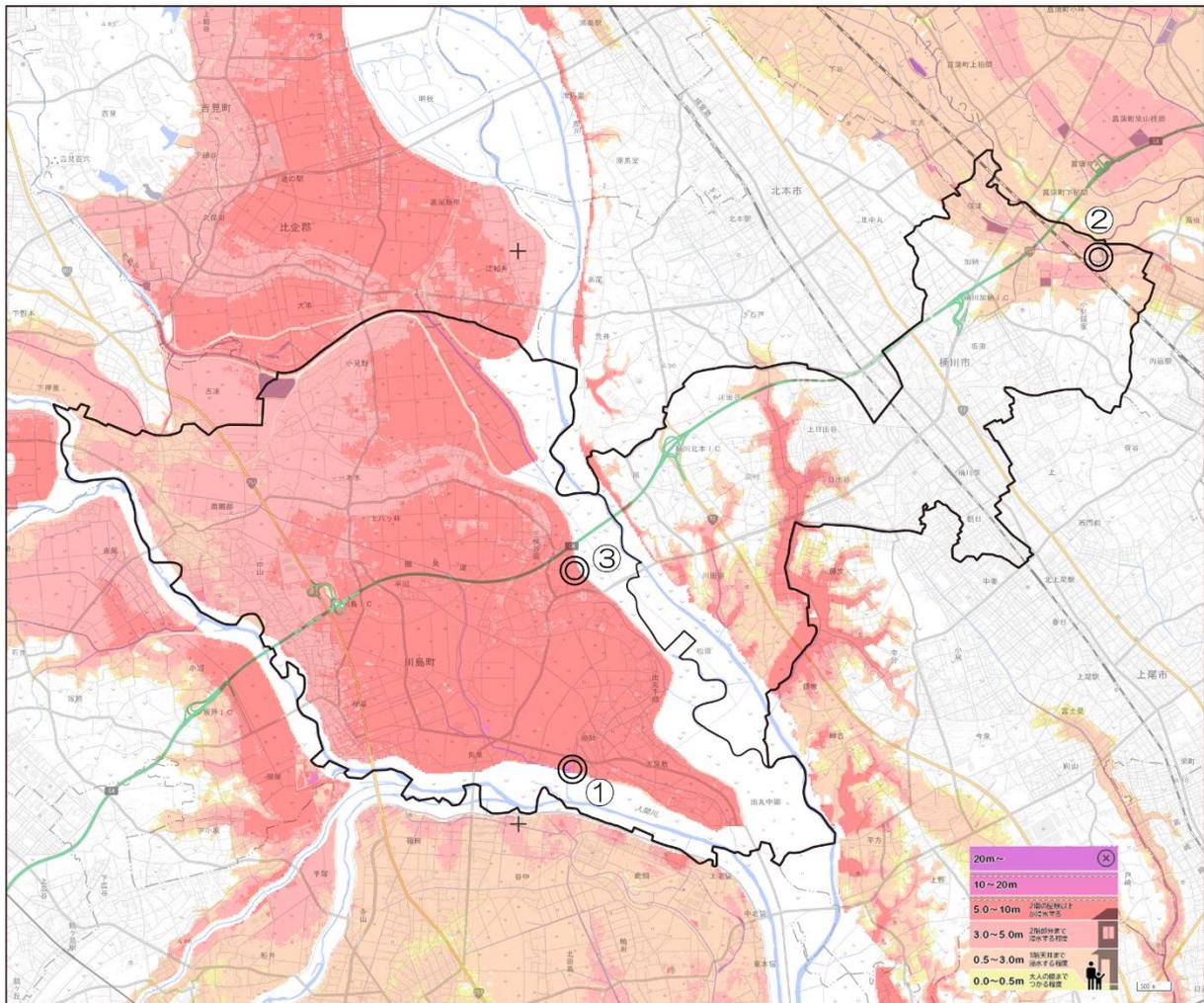


添付資料3 地域内の施設の現況と予定（位置図）



図中 番号	名称	所在地（設置予定地）	備考
①	川島町環境センター（焼却施設）	埼玉県比企郡川島町 大字曲師370番地	③の新施設稼働後に 稼働停止予定
	川島町環境センター（不燃物処理施設）		
	川島町環境センター（容器包装処理施設）		
	川島町環境センター（保管施設）		
②	桶川市環境センター（ごみ焼却施設）	埼玉県桶川市 大字小針領家1160番地	③の新施設稼働後に 稼働停止予定（ごみ 焼却施設は平成31年3 月31日に稼働停止）
	桶川市環境センター（粗大ごみ処理施設）		
	桶川市環境センター（リサイクルセンター）		
	桶川市環境センター（ストックヤード）		
③	マテリアルリサイクル推進施設（仮称）	埼玉県比企郡川島町 大字三保谷地内外	新設予定
	エネルギー回収型廃棄物処理施設（仮称）		

添付資料4 ハザードマップ



出典：「ハザードマップポータルサイト」（令和6年10月時点）を加工して作成

図中 番号	名称	所在地（設置予定地）	備考
①	川島町環境センター（焼却施設）	埼玉県比企郡川島町 大字曲師370番地	③の新施設稼働後に 稼働停止予定
	川島町環境センター（不燃物処理施設）		
	川島町環境センター（容器包装処理施設）		
	川島町環境センター（保管施設）		
②	桶川市環境センター（ごみ焼却施設）	埼玉県桶川市 大字小針領家1160番地	③の新施設稼働後に 稼働停止予定（ごみ 焼却施設は平成31年3 月31日に稼働停止）
	桶川市環境センター（粗大ごみ処理施設）		
	桶川市環境センター（ストックヤード）		
③	マテリアルリサイクル推進施設（仮称）	埼玉県比企郡川島町 大字三保谷地内外	新設予定
	エネルギー回収型廃棄物処理施設（仮称）		

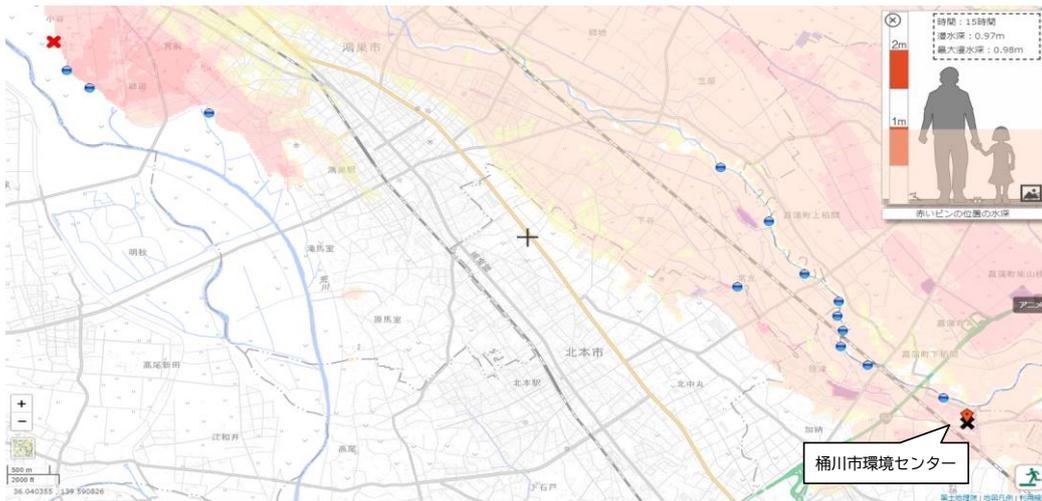
添付資料5 浸水ナビ

■川島町環境センター



出典:「浸水ナビ(国土交通省)」(令和6年10月時点)

■桶川市環境センター



出典:「浸水ナビ(国土交通省)」(令和6年10月時点)

■新ごみ処理施設



出典:「浸水ナビ(国土交通省)」(令和6年10月時点)